

世田谷線で「GALLERY電車」を運行

第1回は2001年4月1日～4月30日まで

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、2001年4月1日（日）から世田谷線で「GALLERY電車」の運行を開始します。1編成の車内広告スペースの全てを同一画家の絵で飾ろうというものです。

「GALLERY電車」は、世田谷線がさらに地域に溶け込み、より一層親しまれる路線となり、乗車されたお客様に安らぎと豊かさを感じていただけることを願って運行するものです。

現在、世田谷線は10編成（1編成＝2両連接）が運行されていますが、このうちの1編成を「GALLERY電車」とし、1人の画家に車内の全ての広告スペースを貸し出し、作品展示と合わせて、車体の外側もデザインしてもらうという「走る画廊」をイメージしています。

第1回は、横浜市在住の画家・森洋子氏による「GALLERY電車」となり、4月1日から30日まで運行の予定です。車内には、氏が世田谷線沿線で暮らした幼い頃の記憶をもとに、1960年代の情景を描いた作品が展示されます。氏の作品は、当時の暮らしのにおいや光りを再現し、その情景をカメラのシャッターを切るように絵にされており、氏は自身の作品を「絵写真」と名付けています。

世田谷線は「玉電」の支線として1925年に開業して以来、地域の方々の身近な“足”として親しまれています。本年2月11日には低床車両300系の導入とともにホームの嵩上げが図られ、電車とホームとの段差が解消されたバリアフリー路線となり、より利用しやすい路線となっています。「GALLERY電車」の運行により、さらに地域に溶け込み、親しまれる世田谷線となるものと考えています。

世田谷線「GALLERY電車」の概要は次のとおりです。

世田谷線「GALLERY電車」の概要

- 内 容 世田谷線に在籍する車両、10編成（1編成＝2両連接）のうち1編成を「GALLERY電車」として設定し、1人の画家の方に貸し出し、車内の広告スペースへの作品展示とともに車体外側のデザインも行ってもらいます。
- 第1回運行期間 2001年4月1日（日）～30日（振替休日）
- 第1回展示内容 横浜市在住の画家 森洋子氏の作品を展示
（内容）
森洋子氏が沿線で暮らした幼い頃（1960年代）の情景を描いた作品を展示して走ります。
氏は、情景をカメラのシャッターを切るように絵にしていることから、自らの作品を「絵写真」と呼んでいます。
（森洋子氏略歴）
- ・1959年 東京都世田谷区に生まれる
 - ・1978年 東京芸術大学日本画科入学
 - ・1982年 サロン・ド・プランタン賞受賞
 - ・1984年 同大学院修了
 - ・1992年 個展開催（場所：銀座スルガ台画廊）
 - ・1993年 絵写真制作開始

以 上